新潟県農林公社企画提案型利用間伐等促進事業

企画提案書

団地名：　〇〇　団地

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　××　団地

○○○○森林組合

（押印省略可）

提出者（担当者）

TEL:

FAX:

新潟県農林公社企画提案型利用間伐等促進事業

企画提案書

【団地名】　　　○○　団地

複数の公社団地で一体的に施業を

実施する場合は、複数団地名を記載

　　　　　　　　××　団地

【所在地】〇〇団地　　　○○○　市　大字　○○○○　地内

　　　　　××団地　　　○○○　市　大字　○○○○　地内

計画年度ごとに記入、同一年度に複数団地施業を行う場合は2段書き以上にしてください

《年度別事業計画》

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 計画年度事業項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 合　計 |
| 団地名 | 〇〇×× | ×× | ×× |  |
| 植栽年度 | S54・S55S55 | S55 | S55・S56 |  |
| 利用間伐面積　　　（ha） | 1.30・1.703.00 | 5.00 | 2.00・3.00 | 3.0013.00 |
| 保育間伐面積　　　（ha） | 0.800.50 |  |  | 0.800.50 |
| 間伐木搬出材積　　（ｍ3） | 300.000200.000 | 250.000 | 200.00 | 300.00650.00 |
| 森林作業道開設延長（m） | 400200 | 250 | 200 | 400650 |
| 作業路修繕延長　　（m） | 100 |  |  | 100 |
| 既設路網延長　　　（m） |  |  |  |  |
| 林業専用道開設延長（m） |  |  |  |  |

《実施年度計画》

当年度事業箇所のみ記載

複数団地の場合は、団地名も記載

【現在の状況】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 植栽年度調査項目 | 〇〇団地S54年度 | 〇〇団地S55年度 | ××団地S55年度 | 団地名年度 |
| 林　齢　　　　　（年生） | 40年生 | 39年生 | 38年生 | 年生 |
| 面　積　　　　　　（ha） | 1.30 | 1.70 | 3.00 |  |
| 植栽年度調査項目 | 団地名年度 | 団地名年度 | 団地名年度 | 団地名年度 |
| 林　齢　　　　　（年生） |  |  |  |  |
| 面　積　　　　　　（ha） |  |  |  |  |

《事業実施計画》〇〇団地

複数団地の提案の場合、《事業実施計画》から《収支計算》のページまでは全て団地ごとに作成願います。

【施業予定期間】

　単年度提案の場合　　令和 6年 4月 1日～令和 6年 8月 31日（175日間）

　複数年度提案の場合　令和 6年 4月 1日～令和 8年 8月 31日（905日間）

【施業内容】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施業の概要 | 間伐方法 | 間伐率 | 刈払い面積 | 作業道開設 | 作業路修繕 |
| 定性 | 20% | 15.00ha | 400m | 100m |

列状（○残○伐）・定性間伐

のいずれかを記載

【利用間伐作業システム】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 作業種 | 伐　倒 | 集　材 | 造　材 | 搬　出 |
| 使用機械 | チェンソー | ウインチ付グラップルスイングヤーダウインチ | プロセッサ | フォワーダ4ｔ車 |
| 距　離 | － | 20m | － | 200m |

《森林施業プランナーからの事業実施提案ポイント》

|  |
| --- |
| 利用間伐と森林作業道事業の基本的な考え方及び、考慮した点などの施業実施結果により期待できる森林整備等における効果など。◎間伐事業について使用機械のリース先名公社所有機械の貸付希望がある場合は必ず記載◎高性能林業機械リースについて提案法線・延長の決定理由、工夫点◎森林作業道について県行造林、民有地、公社団地等面積を記載◎周辺造林地と一体施業（有･無）作業路修繕の必要性・現況・修繕内容わかる場合は路線名を記載（公社造林作業路、森林作業道、集落道、私道等）◎既設造林作業路の修繕等 |

《販売実施計画》

売払精算金額積算表を参考に記入

【販売・運搬計画】　（搬出材積　　　　　　　　m3）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 内訳 | 販売金額（円） | 売払精算金額（円） | 販売手数料（円） | 運搬単価（円） |
| 金　　額 |  |  |  |  |

《森林施業プランナーからの販売実施提案ポイント》

|  |
| --- |
| ◎販売計画について直接事業費・補助金額は、利用間伐と森林作業道開設・作業路修繕等（ある場合）の合計を記載する販売計画、運搬計画の基本的な考え方及び考慮した点（市町村等の運搬補助を活用）などを記載。 |

《収支計算》

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　　分 | 金　　額 | 備　　考 |
| A直接事業費（利用間伐） | 円 |  |
| B直接事業費（森林作業道） | 円 |  |
| C直接事業費（作業路修繕等） | 円 |  |
| D直接事業費（計）(A+B+C) |  | ※税抜き計 |
| E直接事業金額（利用間伐） | 円 | 直接事業費×消費税 |
| F直接事業金額（森林作業道） | 円 | 直接事業費×消費税 |
| G直接事業費（作業路修繕等） | 円 | 直接事業費×消費税 |
| H直接事業費（計）(E+F+G) |  | ※税込み計 |
| I公社雑費 (E×0.105) | 円 | 利用間伐事業費税込の10.5% |
| J総事業費 (H+I) |  | 直接事業費 + 公社雑費 |
| K補助金額 | 円 | 定性50m3/ha・25°以下 |
| L売払精算金額 | 円 |  |
| 公社収支 (K+L-J) | 円 |  |

公社雑費は税込の利用間伐経費に、

10.5%乗じた金額（小数点以下切捨て）

列状・定性、ha当り材積・森林作業道斜面傾斜を記載

《フォレストリーダー、フォレストワーカーの在籍状況》

|  |  |
| --- | --- |
| フォレストリーダー（FL） | フォレストワーカー（FW） |
| 1人 | 3人 |

《過去3カ年以内の労災発生状況》

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 発生なし | 休業4日未満 | 休業4日以上 |
| 〇 | 3 | 2 |

【事業体名】

【住所・電話番号】

【森林施業プランナー氏名・認定番号】

【添付資料】

成果品の完了写真にも必要になってきますので、実施前の写真は撮り逃しのないように撮影してください。

《施業図面》（※事業参加申込書に添付していて、変更がない場合は省略可）

　・別紙施業図参照（複数団地提案の場合は団地ごとに）

《現況写真》（※事業参加申込書に添付していて、変更がない場合は省略可）

　・間伐事業実施区域（ha当たり最低１枚を添付）

　・森林作業道開設起・終点、必要に応じて分岐点などの中間地点

　・作業路修繕がある場合は、修繕が必要な区間の現況写真

《間伐プロット調査表･利用間伐調査書》

（※間伐プロット調査表については事業参加申込書に添付していて、変更がない場合は省略可）

　・別紙１…利用間伐調査書参照

《販売・運搬計画》

　・別紙２…売払精算金額積算表参照

《作業路修繕の参考見積書》

・作業路修繕がある場合は見積書を参考添付

《事業体の概要》

　・下記の項目を記載してください。

　　【事業体名】

　　【代表者氏名】

　　【所在地】

　　【公社造林の利用間伐実績】

《事業実施体制》

　・下記の項目を記載してください。

　　【実施工程計画表】

　　【緊急時連絡系統図・安全衛生管理組織図】

《施業図面の作成例》

〇〇団地

作業路補修　L=100m



利用間伐面積12.90ha

R6実施：5.00ha

R7実施：7.30ha

　　　　　（切捨0.60ha）

森林作業道1,600m

R5実施：1,000m

R6実施：600m

山土場

利用間伐の施業範囲

中間土場

R7実施範囲

プロット：□

R6実施範囲

森林作業道：

山土場

作業路（集落道等）

切捨間伐の施業範囲

※施業図面の作成にあたっては、当年度の施業範囲と次年度以降の施業範囲が分かるように記載してください（単年度施業で完結する場合を除く）。地形などの条件で木材の搬出が不可能な範囲が団地内にある場合でも、施業が可能であれば切捨間伐範囲として提案の中に含めてください。森林作業道の開設についても２年以上に分けて施業する場合、当年度の開設範囲と次年度以降の開設範囲が分かるように記載してください。また、作業路修繕等がある場合は補修区間を明示してください。中間土場がある場合は施業図面内にある場合は記載を、離れた場所にある場合は中間土場位置図の添付をお願いします。